

《参加料無料》 日本の物流コスト

第一部：荷主の物流コスト ～2016年度物流コスト調査より～

第二部：オートバックスセブンの物流コスト削減策

物流コストを管理する意義とは？

物流コストは企業の利益率を大きく左右するものの、財務諸表に明記されないため、的確な算定・管理がされていないケースが少なくない。そのため、製造原価などと比べ、コスト削減の余地が多く残されている場合も多く「第三の利潤源」とも言われ、管理の重要性が指摘されている。

【参加のおすすめ】

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会(JILS)では、我が国の物流コストの実態を把握するため、「物流コスト調査」を毎年実施しています。2016年度の調査では、全業種における売上高物流コスト比率の平均値は4.97%で、前年度から0.34ポイント上昇しており、上昇幅は過去20年で最大となりました。

本研究会は物流コストをテーマとして取り上げ、荷主企業における物流コストの動向を把握し、物流効率化に役立てていただくことをねらいとしています。

プログラムの第一部では、業種別の売上高物流コスト比率等の最新調査データのほか、人手不足を背景としたコスト上昇圧力に直面する荷主各社の物流コスト削減動向等を報告します。

第二部では、カー用品大手の株式会社オートバックスセブンの輸配送網の整備や、最新機器の導入による物流効率化の事例を紹介します。同社では約20年前から自動倉庫やRFIDなどの省力化機器を積極的に導入し、直近では46億円を投じて改修した東西ロジスティクスセンターの稼働を開始しています。

物流コスト実態の把握およびコスト削減に興味のある皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

【日時】 2017年7月7日(金) 14:00～16:00

【会場】

| | | |
|---------|--------------------------|------------------------------|
| 《東京開催》 | タイムズビル 10F南 | 東京都江東区青海2-4-32 |
| 《大阪開催》 | CIVI研修センター新大阪東 5F E5HALL | 大阪市東淀川区東中島1-19-4 新大阪NLビル 5F |
| 《名古屋開催》 | 名古屋銀行協会 会議室 | 名古屋市中区丸の内2-4-2 |
| 《福岡開催》 | リファレンス駅東貸会議室 7F「C会議室」 | 福岡市博多区博多駅東1-16-14 リファレンス駅東ビル |

大阪、名古屋、福岡の各会場につきましては、サテライト会場として実施いたします。
～サテライト会場では、東京(本会場)で実施される講演をインターネットにてライブ中継を行い、講演映像をスクリーンに投影し、同時音声を流します。～

【プログラム】

*プログラムは都合により変更させていただく場合があります。

第一部 14:00～14:50 『荷主の物流コスト ～2016年度物流コスト調査より～』

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 JILS総合研究所 副主任研究員 三代川 慎介

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 物流コストの動向 | 2. 物流コスト削減の取り組み |
| 1) はじめに(マクロ物流コスト) | 1) 物流コスト削減策の動向 |
| 2) 売上高物流コスト比率の動向(業種別) | |
| 3) 人手不足に関連した値上げ要請の動向 | |

第二部 14:50～16:00 『オートバックスセブンの物流コスト削減策』

株式会社オートバックスセブン 流通管理部 東日本物流管理グループ 音松 博之 氏

- オートバックスセブンの物流管理
- RFID を活用した資材管理業務の効率向上とコストの削減
- 輸配送網の整備による配送費削減の取り組み

